

# 令和7年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	あいづ新米ウォーク	事業経緯	継続	実施体制	後援	担当所属	会津若松支所
事業名 (大項目)	地域づくり活動促進事業	分類名 (中項目)	地域活性化・振興支援事業		事業区分	体験活動等	

## 1. 事業目的

本事業は地域色を活かした「会津らしい」事業として、収穫の恵みに感謝し、美しい郷土を見直す機会として開催し、併せて健康の増進に寄与する。東日本大震災および原発事故からの復興へ向けた元気と意気込みを発信し、自然環境の保全、自然共生型の社会づくりに貢献するとともに、地域の観光PR、地域振興につなげることを目的とする。

## 2. 事業実施体制

主催: あいづ新米ウォーク実行委員会  
 福島民友新聞社、湯川村、NPO法人会津阿賀川流域ネットワーク、  
 福島中央テレビ、福島県ウォーキング協会  
 後援: 福島県、福島県スポーツ協会、福島県市長会、福島県町村会、  
 福島県商工会議所連合会、福島県商工会連合会、福島県医師会、  
 福島県歯科医師会、読売新聞東京本社福島支局、ふくしまFM、  
 (一社)北陸地域づくり協会、全国健康保険協会福島支部  
 協賛: JA会津よつば、リオン・ドールコーポレーション  
 特別協力: 国土交通省阿賀川河川事務所  
 協力: 道の駅「あいづ 湯川・会津坂下」、会津坂下警察署、会津若松地方広域消防本部

## 3. 事業実施概要

日時: 令和7年10月18日(土) 9:00~  
 場所: スタート・フィニッシュ 道の駅あいづ 湯川・会津坂下  
 実施概要:  
 ・ウォーキング  
 6kmコースー阿賀川沿いの田園地帯、勝常寺を巡る  
 8kmコースー阿賀川を下流方向へ、北田城址、勝常寺を巡る  
 14kmコースー阿賀川沿い、北田城址、川番所、浜崎城址、勝常寺を巡る  
 「まなぶん」8km、12.5kmコースー先人の川利用や城・寺社の歴史を学ぶ  
 ・ご当地PR(自治体・道の駅)  
 ・参加賞として会津産新米など  
 参加者: 一般公募約650人  
 参加費(事前予約): 一般1,500円、中学生以下1,000円、未就学児無料

## 4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

道の駅「あいづ 湯川・会津坂下」は、地域活性化に向けた地場産品の情報発信と6次化産業の開発拠点であるとともに、「阿賀川河川防災ステーション」及び「かわまちづくり」と一体整備を行った、地域の防災拠点及び交流拠点と位置づけられている。  
 本事業は平成27年の初開催から幾度かの中止を経て今回で9回目。同施設を核とした取り組みの一つとして、地元紙による幅広い広報と合わせ、地域住民への防災意識・河川愛護精神の啓蒙、参加者同士の交流、並びに地域交流・活性化に貢献することが期待される。



出発前の準備運動



「まなぶん」コースのガイド



田園風景の中をウォーキング